



埼玉西部消防局 山岳救助隊 NEWS

夏号

令和2年
7月
発行

埼玉西部消防局 山岳遭難事故発生状況（令和2年4月から令和2年6月末まで）

発生日	場所	事故内容	年齢	性別	負傷程度
4月 3日	妻坂峠	男性が倒れているとの通報	50代	男性	死亡
4月 5日	尾須沢鍾乳洞	クライミング中、6m墜落し腰部負傷	40代	男性	中等症
4月25日	林道八徳線	バイクで走行中4m下の沢に転落	20代	男性	軽症
4月28日	多峯主山	道迷い、転倒し側部負傷	60代	男性	中等症

～～～・登山再開に向けた知識・～～～

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行により、発令されていた緊急事態宣言や都道府県を跨ぐ移動の自粛が解除されたことから、登山に出かける方が増えていくと予想されます。その中で、感染リスクを減らして登山に行けるポイントをいくつか挙げてみました。

感染のリスクを防ぐために

（1）余裕を持ったスケジュールを立てよう！

マスクの着用やソーシャルディスタンスに配慮した登山は時間がかかります。
余裕ある登山計画を立てましょう。

（2）出発前には体調を確認しよう！

体温が平熱より高い、なんとなく怠い、咳が出るなど、わずかな体調の変化を見逃さず、明らかに健康でなければ登山は中止しましょう。

（3）公共交通機関を利用するときは、混雑状況等を確認しよう！

利用する機関の三密回避（座席空間等）について利用前に確認しましょう。
窓を開けることができる車両であれば、換気ができるメリットがあります。

登山装備やギアの消毒

カテゴリー	品目	方法
消毒できる資器材	・カップ ・ヘルメット ・ヘッドライト（ライト部分）	①表面の汚れを落とす ②アルコール消毒、または0.1%以上の次亜塩素酸ナトリウム液で1分以上浸した後、水拭き
消毒が難しい資器材	・衣類・手袋 ・登山靴・ザック ・ロープ・カラビナ	①製品の洗濯表示に従い、可能な限り温かい温度で洗濯 ②完全乾燥させる
洗えない資器材	・羽毛製品（ジャケット等） ・革製品	7日間経過してから、再使用

体調不良の人たちに出会ったときの対応

1 傷病者が話せるとき

- (1) マスクを着用し、ソーシャルディスタンスを保った状態で対応しましょう。
- (2) 可能であれば傷病者にマスクを着用してもらいましょう。
- (3) 質問をしましょう。
[①どうしたのか? ②いつから? ③症状・負傷の有無 ④救助要請の有無]

2 傷病者に声をかけてもはっきりした返答がない場合

- (1) 救助要請をしましょう。
- (2) 傷病者に接触するときは、マスク・手袋・ゴーグル等を着用しましょう。
- (3) 傷病者がマスクをしていなければ、本人の持ち物で鼻口を覆いましょう。
- (4) 自分が安全に行える範囲で応急処置を行いましょう。

~~~~~夏山での熱中症対策~~~~~



・熱中症を疑ったら、まず暑さから逃げよう！！

・木陰を探して、日差しを遮り熱を逃がそう！！

・こまめに水分補給をしよう！！



登山届けを提出しましょう！！



いざという時に、役に立つのが「登山届け」です。消防・警察の山岳救助隊は、提出された登山届けの情報をもとに、捜索活動を行います。登山届けは、登山口に設置してあるポストや、埼玉県警察のホームページからも提出できます。また、家族や身近な人に渡しておくだけでも大きな情報源となります。

